

『土佐日記』「門出」(読解)

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり。

①その年の十二月の二十日余り一日の日の②戌の時に、門出す。そのよし、いささかにものに書きつく。

③ある人、A県の四年五年果てて、例のこともみなし終へて、B解由など取りて、住むC館より出でて、船に乗るべき所へわたる。かれこれ、知る知らぬ、送りす。④年ごろよくくらべつる人々なむ、別れがたく思ひて、日しきりに、とかくしつゝ、⑤ののしるうちに、夜更けぬ。

二十二日に、D和泉の国までと、平らかに願立つ。藤原のときざね、⑥船路なれど、むまのはなむけず。上・中・下、酔ひ飽きて、いとあやしく、潮海のとりにて、あざれ合へり。

二十三日。八木のやすのりといふ人あり。この人、国に必ずしも言ひ使ふ者にもあらざなり。これぞ、たたはしきやうにて、むまのはなむけしたる。守柄にやあらむ、国人の心の常として、「今は。」とて見えずなるを、⑦心ある者は、恥ぢずになむ来ける。これは、ものによりてほむるにしもあらず。

二十四日。講師、むまのはなむけしに出でませり。ありとある上・下、童まで酔ひしれて、⑧一文字をだに知らぬ者、しが足は十文字に踏みてぞ遊ぶ。

問一 傍線部A～Dの読みを現代仮名遣いで書きなさい。

問二 傍線部①とありますが、実際に何年の出来事だと考えられていますか？最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 七二八年
イ 七九四年
ウ 九三四年
エ 九九〇年

問三 傍線部②とあるが、何時頃を指しますか？

問四 傍線部③とありますが、実際には誰のことですか？氏名を漢字で答えなさい。

問五 傍線部④・⑤をそれぞれ現代語訳しなさい。

問六 傍線部⑥・⑧の滑稽表現の説明として適切なものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 言葉が矛盾していることのおかしみ。

イ
倒置法を用いたことによるおかしみ。

言葉が対照的であることのおかしみ。

工掛詞を使うことによるおかしみ。

問七 傍線部⑦とは、どういう人を言いますか？簡潔に答えなさい。

【解答欄】

問五		問二	問一		
⑤	④		C	A	
		問三			
					D
			ころ		
			問四		

問六
⑥
⑧
問七

問一		問二	問五	
C	A		⑤	④
たち	あがた	ウ	大騒ぎするうちに	ここ数年とても親しくつきあってきた人たち
		問三		
D	B	午後八時		
		ごろ		
いずみ	げゆ	問四		
		紀貫之		

問六	⑥	ア	⑧	ウ	問七	真心のある人

※問六⑥「むまのはなむけ」とは、旅に出る人の馬の鼻先を向けるという意味が含まれます。そのため、「馬で移動する」Ⅱ「陸路」という発想があります。この話では「船旅」Ⅱ「海路」ですので、陸と海で矛盾すると考えます。